

# 社友会だより

## 第 34 号

発行 センツウ社友会  
 住所 神奈川県川崎市麻生区上麻生 2-35-16  
 〒215-0021 平野昌明 内  
 編集者 大場省平

### \* 第 25 回定期総会開催 \*

平成 24 年 7 月 7 日（土）12 時から、東京銀座のラフィナー  
 トに於いて、センツウ社友会第 25 回定期総会が開催されまし  
 た。

司会の松本理事が、第 25 回センツウ社友会定期総会を開  
 催する旨宣言し、開会した。

初めに、平成 23 年度中にご逝去されました会員 2 名（故、  
 吉田幸男氏、和田忠則氏）の名前を読み上げ、出席者全員  
 による黙祷を捧げ、ご冥福をお祈り致しました。

早速、議長の選出に入り、松本理事が議長を務めること  
 となった。

議事に先立ち、法安会長から次のとおり挨拶があった。

#### 〈 法安会長の挨拶 〉

皆様今日は、この様な悪天候の中、遠路ご参集賜りま  
 して、誠に有難うございます。



皆様のお元気な願いを拝見  
 いたしまして、大変嬉しく存じ  
 しております。

日頃は、会の運営につきまして、  
 何かとご支援ご協力を賜り厚く  
 お礼申し上げます。

今日は、天候等の影響もあり、  
 出席者数が少ないのが誠に残念  
 ですが、これも止むを得ないこと  
 です。

さて、我が社友会でございま  
 すが、改めて申し上げることはござい  
 ませんが、ホームページ等でご案内申  
 上げておるように順調に推移  
 しております。

役員会の方も、最近スタッフに恵ま  
 れて、堅實的且つ精神的に進捗して  
 おります。二歩前進、一歩後退的な  
 面もあるかもしれませんが、このよ  
 うな状況で概ねうまくい  
 っているとご認識いただければと  
 存じております。

今日は、総会開催時期や会計年度改  
 制等、ご議論いただくことがござ  
 いますが、精力的に進めていただき  
 、本会の主目的であります楽しい福  
 祉（懇親会）に早く移りたいと  
 存じます。

最後になりましたが、皆様のご健康  
 を祈念いたしまして私の挨拶といた  
 します。有難うございました。

松本議長が、議事に入る旨宣言し、  
 議事に入った。

○議題

第 1 号議案 平成 23 年度活動報告及び  
 会計報告承認の件  
 平野事務局長が活動報告及び会計  
 報告について説明し、長谷川監事  
 が会計監査報告を行い、議長は議  
 場に諮った結果、満場一致で承認  
 された。

第 2 号議案 センツウ社友会会則の  
 一部改正の件

平野事務局長から「センツウ社友  
 会会則の一部改正案」を説明し、  
 議長は議場に諮った結果、満場一  
 致で承認された。

○第 10 条 総会開催時期を 7 月か  
 ら 4 月に変更

○第 14 条 会計年度 7 月 1 日か  
 ら 4 月 1 日に変更

第 3 号議案 平成 24 年度活動計画  
 及び予算案承認の件  
 平野事務局長から「平成 24 年度  
 活動計画及び予算案」について説  
 明し、議長は議場に諮った結果、  
 満場一致で承認された。

以上で議案の審議は全て終了し、  
 法安会長が総会終了の挨拶を行  
 った。

その他、議長から、新規入会者を  
 紹介、事務局長から、ホテル銀座  
 ラフィートは、耐震の関係から本  
 年 12 月を以て休業となる旨、報  
 告された。



### \* 総会後の懇親会 \*

総会後、浜田理事の司会により懇  
 親会が開催された。

#### 〈 朝原さんの乾杯のご挨拶 〉

センツウ社友会の益々の発展並び  
 にご臨席の皆様のご健勝を祈願  
 いたしまして、乾杯したいと思います。  
 ご唱和願います。全員、杯を高  
 らかに挙げ 乾杯!



乾杯後、其々が近くのテ  
 ーブルを囲み、久し振りに  
 参加された方、遠方から参  
 加された方等で、再会を喜  
 び、酒を酌み交わした一時  
 間半が過ぎました。

〈 総会後の懇親会 〉



〈宮崎さんの中締め〉

皆様とお会いして、脳が若返りました。

米寿を迎えられた方が多くなり、大変嬉しい限りです。

私は米寿まであと 4 年あります。何とか、あと 4 年健康で、この会に出席したいと思っています。

それでは、皆様のご健勝とこの会の益々の発展を祈念いたしまして「万歳三唱」をしたい。

全員で万歳三唱を行い、散会となりました。



“ 24 年春季ゴルフコンペ開催 “

阿部 正一さん優勝

平成 24 年 5 月 22 日 (火) クリアビュー CC に於いて恒例のゴルフコンペが開催されました。

この時期としてはめずらしく当日に限り荒れ模様の天候となりましたが、4 組 13 名が参加し、雨の中でスタートしました。午後になると更に風雨が強まり最悪のコンディションとなりましたが、全員最後まで元気でプレイを行い無事に終了いたしました。参加された皆様大変お疲れ様でした。

今回も新ペリア方式による競技を行った結果、阿部正一さんがネット 72 で優勝されました。

参加された方々と入賞された方は次のとおりです

「参加者氏名 (スタート順・敬称略) 」

- 1 組・富岡 斎・阿部正一・足助 正・富岡安都子
- 2 組・菅原和夫・濱田 治・米丸康文
- 3 組・加藤恒男・沖本良平・黒田繁雄
- 4 組・山形剛士・平林正夫・菅原志郎

「入賞された方 (敬称略) 」

順位 氏 名 グロス ハンディ ネット・その他

優勝	阿部 正一	84	12.0	72.0	BG
二位	富岡 斎	100	21.6	73.4	NP
三位	濱田 治	111	36.0	75.0	

「優勝された阿部 正一さんの喜びの声」

18 年に社友会に入会以来、10 回目で初めて優勝することができました。

最近ではシャンク病に陥り、コントロールショットが怖くてスコアメイクもままならなくなってきましたが、当日は大雨だったので打ち急ぎに気がつけたのがかえって幸いしたことと、パートナーの富岡さんご夫妻と足助さんの声援をいただいて優勝の栄誉を獲得することができました。ありがとうございました。

私のゴルフ暦も 40 年以上になりますが、年とともに飛距離も落ちてくる等レベルも落ち気味なので、今回の優勝を機会に、練習も強化して今後もスコアメイクに努め健康なゴルフを続けたいと思います。 また、幹事をつとめていただいた濱田さん、平林さんどうもありがとうございました。

〈レポーター濱田 治さん〉

「事務局より」

2 回続けて新ペリア方式で競技を行いました。2 回分の新ペリアハンデを基に新ハンデを設定し、次回からは新ハンデで成果を競うことといたします。

次回 (秋季大会) の開催は 24 年 9 月下旬頃を予定しております。他地域のゴルフ愛好家の方の参加もお待ちしておりますので、参加希望のある方は濱田までご連絡下さい。



九州支部、新緑の雲仙・阿蘇

ミヤマキリシマの旅 (5/22~23)

九州社友会の有志で雲仙、阿蘇ミヤマキリシマの旅に出かけました。

数年前は一泊二日の旅行は恒例行事だった。幹事がインターネットやロコミで集めた情報で探し出してきた露天温泉巡りが最大の楽しみだった！九州各地から集合するから専ら自家用車を利用していた。懇親会は久しぶりの仲間で大いに盛り上がり本当に愉快的な温泉旅行だった。朝の朝食が終われば、各々、勝手に帰路に就く、ゴルフに講じるものがあれば、真っすぐ帰路につくものあり、分乗して観光



旅行する者ありで、勝手気ままな旅行をしていた。

そこで今回、4年ぶりに、一泊二日の旅行復活となった。そして、高齢化による運転事故も心配されることから一般交通機関を利用する旅にし、格安の旅行物件を新聞、インターネットで探した。約1か月後、「新緑の阿蘇、雲仙、九重 ミヤマキリシマ決定版 2日間」の記事が掲載されているとの情報を得て有志に賛同を得て、これに決定した。そして、ツアーバスでは合同で夕食となり懇親会ができないので、オプションで個室希望を入れ懇親会を実施できるように工夫した。

出発は5月22日（火）、参加者は奥原、村上、横溝、金重、松崎（小倉駅より乗車）、西村、藤野（博多駅より乗車）の合計7人、バスは乗車定員60人の半分以下の25名（もう一台は満員）、センツウ0B7人は後部座席の7列を占有（17人席）する特別待遇で2日間、ゆったり、専用の席が確保できた。

旅の始まりは武雄神社3000年の大楠見学である。ここで最初の記念写真を一枚、次は嬉野茶（ちなみに九州の



3銘茶、知覧、八女、嬉野）茶々村では工場に入るなりハンドマイクの「おっちゃん」がまくし立てる。やか

ましい限りで早々に退散、次は有田の「のんこの郷」で昼食である。業績不振のテーマパークを酒造会社を買収したのでこの名前（焼酎 のんこの）がある。どうもツアーバスでは業界と提携し観光客を集客しているらしい。ここでも特別席でバイキング、地産地消メニューを大小お皿に盛り、ビールを少々、食後にデザートで満腹となった。（バイキングはオプション）、次にバスを降りるときに貰った有田焼無料券を持って物産館へ、お茶碗を貰ったがつい財布のひもが緩み大量の無駄使い？次は、酒造会社の試飲コーナーへ、中国人の蟻のような人ばかりでビックリ、嫌になり、飲むだけ飲んで買わずにバスに駆け込んだ。

ここから雲仙に向かうが、しばらく高速道路を走ると、右手に琵琶湖と同じ大きさの大村湾が見え、高速道路を諫早で降り、橘湾をみると原油備蓄タンカー船が漂泊していた等昔話に花が咲いていた。途中、強制連行の杉谷カステラ店でお土産をまた購入、生産量が北海道に次いで多いジャガイモ畑、九州の熱海と言われている小浜温泉をみてようやく、第一日目の目的地、ミヤマキリシマの群生する雲仙、仁田峠（標高1100m）に到着した。

ミヤマキリシマは最高の見頃であり、あたり一帯はピンクの絨毯で覆われているようでした（見事、綺麗、写真の通り）ここではロープウェイで妙見岳まで登り、眼下に広がるミヤマキリシマ。雲仙普賢岳、溶岩ドーム、天草、有明海方面の絶景を満喫した。記念写真をいやという程撮り

ました！これよりホテルに投宿となったがホテルは「有明ホテル」であるが「ゆうめいホテル」と読むそうだ。早速、旅の疲れを癒すた



めに露天風呂に入浴、一同揃ったところで記念写真を1枚、懇親会は個室（オプション）を準備してもらったおかげでツアー客とは離れて、ゆっくり懇親会できた。二次会は幹事部屋で各自、持参のお土産のじやこ天、つまみ、焼酎で一杯、2杯と延々と話は弾み、部屋に帰っても高齢を忘れ深夜まで話し声が鳴り響いていたとか？

2日目は高齢のためか早起き、5時半より朝風呂を楽しむが朝食までは1時間30も余裕があるので、朝食後の散歩を繰り上げ雲仙地獄へ観光と写真撮影の散歩に出かけた。地獄一帯は硫黄の匂いと水蒸気に覆われ、程よい冷気にさらされ気持ちの良い、酔い覚ましの散歩であった。その後は心配りのサービスの朝食を頂き、ほどなくホテルを出発したがガイド曰く、超一流ホテルの条件はバスの見送り方にある、「バスが見えなくなるまで手を振るのが超一流」と云うわけで、乗客と一緒に見届けていた、まるでお客様に超一流ホテルで泊まれてよかったですね、のアピールをしているようでした。退屈させないうまい添乗員だ！と感心しました（ガイドではなくて添乗員です）。雲仙の急斜面を下って、熊本方面に向かう、途中、島原の道の駅「みずなし本陣」であの火砕流による自然災害の恐ろしさを体験して一路、高速フェリーで熊本港に上陸、熊本城・本丸御殿を見学したが平日にも関わらず大盛況で中に韓国人の高校生らしき集団がいやに目に付いた。中国人や韓国人がやたらに多い（かつては日本人もこう思われていたのかも）、お城に隣接する新しく出来た昼食お土産スポットの城彩館で昼食したあとは熊本市内を出て57号線を大分方面に走り、阿蘇外輪山の切れ目に当たる立野より阿蘇盆地に入り、阿蘇中岳と高岳の中間の谷間にあるミヤマキリシマの群生する仙酔峡に入った。今年は中岳の火山性のガスが多くガスの影響で色づきが悪いとの説明があったが、花は枯れかけ色付きも悪く、雲仙より低い（900m）せいか花の見頃はすでに終わったように見え、とても仙人が酔うほどの美しさは感じる事ができなかった。残念！！

バスは大分方面にやまなみハイウェイ（高速道路でなく高



い位置にある道路の意味)を走り、阿蘇の千枚田、阿蘇の涅槃像（阿蘇五岳で見えるお釈迦様の涅槃像）の景色をみて、九州で最も広い高原、瀬の本

高原(900m)、大分と熊本の県境を過ぎ、バスが通れる道では最高位の牧ノ戸峠(1332m)を通り、九重高原のミヤマキリシマにも案内してくれたが残念ながら小規模で見頃も過ぎていた。バスの添乗員が大サービスで芹洋子の坊がつる賛歌を歌って旅行も終盤に差し掛かり、大分自動車道、九州自動車道を経由し、各々、二日ぶりに我が家へお土産をどっさりを持ち帰って社友会一泊二日の旅を無事完了することができた。皆様お疲れ様でした。

<レポーター松崎繁行さん>

## 中部支部、能登半島親睦旅行

平成24年6月2日～3日、支部総会を兼ねて1泊2日の旅行を楽しんできました。

毎年、5月下旬～6月上旬にかけて1泊2日の予定で計画実施してきております。支部発足以前より、過去に遡れば、平成18年芦原温泉、19年下呂温泉、20年加賀山代温泉、21年岐阜恵那峡、22年鳥羽と今回能登半島和倉温泉と東海、北陸地方と交互に親睦を深めております。

特に今回は、関東から今井さん、清水さん、常連の長谷川さんの参加をいただきました。



例年、10人前後から総勢16名と宴会前に予想したとおり賑やか懇親会となりました。

佐藤さんの乾杯の音頭で宴が始まった。料理はバイキング方

式で好きなものを好きなだけ食べ、お酒も何でも好きなだけ飲み放題、酔いが回りにつれどうしても現役時代の仕事の話がアッチ、コッチで花が咲く、中には政治の難しい話も。アツという間に規定時間となり、かってない経験のない賑やかさはどう表現したらよいか良い言葉が出てきません。

2次会を幹事の部屋で飲める人も飲めない人も全員参加で1次会以上にワイワイ、ガヤガヤと堅苦しい、細かいことは抜きにしてザックバランに楽しく過ごすことが出来ました。終わりに今井さんから謝意の言葉があり23時30分床に就いた。

翌日は汗ばむほどに晴天に恵まれ、周辺名所巡り(輪島の朝市、千枚田、能登平家の郷等)、東尋坊・永平寺、飛驒の溪流での魚釣りそれぞれが企画した目的地へと金波荘で散会しました。

<レポーター本田太作さん>

## \* 役員会の開催 \*

○日時 平成24年7月7日(火土) 14:30から16:00

○場所 ホテル銀座ラフィナート  
(東京都中央区銀座1-26-1)

○出席者 9名(法安、大場、大和田、崎山、松原、松本、濱田、長谷川、平野の首都圏在住役員)

### 1. 議題

- (1) 社友会役員の主な担当事務について
- (2) 平成24年度役員会開催予定について
- (3) 平成24年度社友会活動計画
- (4) センツウ社友会運営内規の一部改正について
- (5) 会創設25周年記念事業について
- (6) その他

### 2. 議事

(1) 事務局長から資料により「社友会役員の主な担当事務」について説明した。

また、法安会長は予めから辞意の意向があること、平野理事は、一身上の都合により郷里に帰るため、来年3月以降事務局長の事務が出来なくなるので、事務局長の後任者を選任願いたい旨、併せて説明した。

審議の結果、会長については、来年以降についても、現法安会長に引き続きお願いしたい旨、出席役員全員から要請した。また、事務局長については、本年12月まで事務局長の任にあたることとし、後任については、今後の役員会で検討することとした。

(2) 平成24年度役員会開催予定について

事務局長から、資料により説明し了承された。

(3) 平成24年度社友会活動計画

事務局長から、資料により説明し了承された。

(4) センツウ社友会運営内規の一部改正について

事務局長から、社友会の会費および入退会を明確化するため、運営内規の一部改正をしたい旨、説明し了承された。

(5) 会創設25周年記念事業について

事務局長から、資料により「センツウ社友会史(概略案)」を説明した。

審議の結果、

- ① 資料の収集を急ぐこととし、旧センツウ総務部総務担当の関係資料を閲覧する。
- ② 大和田理事から、「社友会誌の増刊的なものにしてはどうか。」との意見があった。
- ③ 具体的体裁、内容については、今後検討していくこととした。

(6) その他

次回の役員会は、9月14日(金)開催を予定

### お悔やみ

速水昭三 様 平成24年5月7日 享年83歳

前田昌幸 様 平成24年7月7日 享年51歳

謹んでご冥福をお祈りいたします。

次回の発行は、10月を予定しています。